



平成25年

年頭に当たって



「開かれた議会」、「市民参加を推進する議会」を目指して

高梁市議会議長
小林重樹



「住んでよかった、住み続けたい高梁」を目指して

高梁市長
近藤隆則

明けましておめでとうございます。皆さまには希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、世界的な信用不安や急速な円高により、経済の減速傾向が見受けられ、年末の総選挙では、再び政権交代があるなど、不安定な状況が続いています。

一方で、ロンドン五輪での史上最多のメダル獲得、サッカーU-20女子ワールドカップ3位入賞、山中伸弥京都大学教授のノーベル医学生理学賞受賞など明るい話題も多くありました。

本市においても、FC高梁吉備国際大学シャルムがなでしこリーグ昇格、吹屋地区が都市景観大賞を受賞、本市出身の間野博行自治医科大学教授が紫綬褒章を受章されました。こうしたご活躍は、本市の活性化にもつながるものであり、今後のますますのご発展を期待します。

さて、癸巳みづのとしの年は、焦らず進め、新たな考え方で物事が生まれてくる年であるといわ

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、ご家族おそろいで穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、長期にわたる景気低迷に加え、東日本大震災からの復旧・復興の遅れや原発問題、緊張の増す国際情勢など、さまざまな困難な課題に直面し、混乱の度がより深まった一年となりました。また一方では、ロンドンオリンピックやノーベル賞における日本人の活躍など、明るい話題もございました。

こうした中、12月には衆議院の解散総選挙で政権交代が行われるなど、国政においても大きなうねりのあった年でもございました。

高梁市におきましては、庁舎建設や高梁駅バリアフリー化および周辺整備といった大きな課題が激論の末、建設が決定されたところであり、早期の完成を願っておるところでございます。

また、FC高梁吉備国際大

れています。今年は、高梁市新総合計画の達成に向け、事業の検証を行うとともに、新たに取り組むべき施策にも積極的にチャレンジしていきたいと考えています。「住んでよかった、住み続けたい高梁」を目指して、元気な産業づくり・まちづくりや地域の教育力の向上、行財政改革の推進をはじめ、公聴機能を充実させ、これまでの施策の着実な実現と実施に取り組んでまいります。

また、JR備中高梁駅のバリアフリー化と駅周辺整備、新庁舎の建設に着手するほか、交流人口100万人を目指した歴史まちづくりの促進やスポーツ交流のための施策に取り組みます。学校教育での学力向上や就学前教育の充実にも努め、さまざまな定住対策を推進してまいります。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年も引き続き、市政に対するご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

学シャルムがなでしこリーグに昇格いたしました。これは高梁市のPRおよび発展に大きく貢献するものと考えており、執行部、市民と一緒に頑張って応援していきたいと考えております。

議会といたしましては、昨年制定いたしました議会基本条例の運用を本格的に実施してまいります。その一つとして、市民の皆さまから広くご意見をいただく議会報告会を開催することとしております。また、市政の重要課題について、議員同士が活発に意見交換を行う議員間討議を行い、開かれた議会と市民参加を推進する議会を目指してまいりたいと考えています。

市民の皆さまには一層のご協力、ご鞭撻べんたつを賜りますようお願い申し上げます。終わりになりましたが、市民の皆さま方ますますのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。